

図書室だより 6・7月合併号

渋谷の歴史



渋谷区立広尾中学校

学校長 川上弘文

図書館スタッフ

岡崎・横田

広尾中学校は、青山キャンパスへの移転に向けて準備を進めています。創立からはもうすぐ 80 周年。お別れするこの校舎には、これだけの長い時間、お世話になったことになります。図書室ではこの機会に、広尾中学校周辺の歴史を展示でまとめます。広尾中学校が開校した当時、渋谷の駅前はどのような様子だったのでしょうか。子どもたちはどのように遊んでいたのでしょうか。現在の渋谷との違いを感じてみてください。



図書室からのお知らせ

リサイクル本の配布



青山キャンパス移転に伴い、蔵書の整理をしました。青山キャンパスの図書室では広尾・松濤中学校、両校の本が図書室に並びます。この機会に、複本(同一の図書が 2 冊以上ある本)を 1 冊まで減らし、より多くの本が図書室に並ぶようにします。そこで、複本をリサイクル本として皆さんにお配りします。リサイクル本コーナーを作りますので、ご自由にお持ち帰りください。リサイクルに御協力いただければ幸いです。よろしくお願いします。

6月20日(金)～7月11日(金) 昼休み・放課後16時半まで

夏休み貸出

今年の夏休みの貸出は、1人 5 冊です。POP に使う、しぶやおすすめの本 50 や、読書感想文全国コンクールの課題図書、本屋大賞の本など、魅力的な本を取り揃えています。夏休みにゆっくりと読んでみませんか。

貸出期間:7月1日(火)～7月11日(金) 1人5冊まで



返却期限:9月9日(火)

(移転の作業のため、7月14日(月)から図書室は閉室いたします。)

2025年6月発行

『この夏の星を見る』(分類:913 つ)

辻村深月/著 KADOKAWA/出版



コロナ禍、中高生の感じる不条理と感情の動きを天体観測とともに描いた良作。人と人との触れ合いが制限された日々。しかし、確かに仲間と過ごした日々は存在したし、時間は失われていない。物語に登場する学校が、広尾中学校の様子と似ていると、図書室で話題になっています。

『渋谷の秘密』(分類:291 し)

三浦展/監修 パルコ エンタテイメント事業部/出版



歴史と地形、消費と文化、二度のオリンピック……。12 の切り口から、渋谷の底知れない魅力を解きあかす一冊。明治から現代へ、街の変貌と地形の凸凹ぶりがわかる地形段彩図をはじめ資料多数。写真も満載!

『青山文化研究』(分類:361 い)

井口典夫/編 宣伝会議/出版



渋谷、原宿、赤坂、六本木、麻布、広尾といった個性的な街を周りに配しながら、その文化圏の中核をなす「青山」の魅力は、果たしてどのようにして生まれたのか、そしてなぜ強い磁力を保持し続けることができるのだろうか。最新の「青山」の動きをとらえ、分析し、その先にある未来と可能性を洞察する。

『葛屋重三郎 見るだけノート』(分類:210 つ)

安藤優一郎/著 宝島社/ 出版



NHK 大河ドラマ「べらぼう～葛重栄華乃夢嘶～」で描かれる葛屋重三郎とその時代をざっくり理解する書籍。江戸時代、渋谷の丘はほとんどが武家屋敷で、低地の水田地帯には農家が点在し、宮益坂と元広尾には商家があったそうです。そんな昔の渋谷の姿に想いを馳せるのも楽しいですね。